

10/14 第4回「外国につながる子どもたちの教育現場を知ろう」を受講して

今回はかなり衝撃を受けました。

私は日本で暮らすことになった人達が、日本で暮らして良かったと思ってもらいたい。

しかし「外国につながる子どもたちの教育現場について」を今回受講して、テレビなどの情報や人々の話で聞いたことよりも深い、また背景を聞くことが出来本当に衝撃を受けたのです。

講師が「支援がなくても生きていく力をつける」「諦めるのではなく、自分で人生の選択を選ぶことできる力をつけるための教育や環境の整備」など尽力されている話を聞き、重い内容ですが救いと希望を持ってました。

外国につながる子どもたちの教育現場を知ることにより、今は積極的に関与はできなくても、理解することはできます。理解できたなら排除や嫌悪感はなくなります。そのことが多文化共生のまちに少しずつ繋がるのでは。表面的な国際交流ではなく人の幸せに繋がる国際交流。

今回の講義はいろんな人に聞いてもらいたいです。重い内容ですが、講師の明るさで笑いもあります。知らないからと見すごすより、知って理解することで良くなることも。

この講義の内容は私のレポートでは説明しきれません。

ただ言えることは、聞いて良かった。今回の講義を多くの人に聞いてもらいたいということです。

こまつ市民大学サポーター 荒谷